

子育てシンポジウム

子どもたちに 安全・安心な地域の居場所を

3月6日(日) 1:30 ~ 4:30 受付は1:00から

東京・全水道会館 4階ホール(地図は裏面)

J R水道橋駅下車 徒歩3分 / 地下鉄都営三田線「水道橋駅」徒歩2分

コーディネーター

佐藤一子さん(東京大学教授)

パネラー

清水範子さん(千葉市・保護者)

野中賢治さん(文京区児童館館長 / 学童保育指導員)

福田雅章さん(一橋大学名誉教授・DCI日本支部代表)

主催・問い合わせ・申し込み先

全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-13
TEL 03(3813)0477 FAX 03(3813)0765
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou>

*当日受付もありますが、なるべく事前に申し込みください。

裏面の申し込み用紙にご記入のうえ、ファクスにてお送りください。ホームページからメールでの申し込み、または電話での申し込みもできます。

参加費：500円(当日、受付でお支払いください)



<シンポジウムのおさそい>

放課後、地域で子どもたちが被害にあう事件が多発しています。地域で子どもたちが安全に遊べる環境づくりは大きな課題としてクローズアップされています。

一方、共働き家庭等の小学生の放課後と土曜日・長期休業中の「生活の場」である学童保育を利用する子どもたちが急増しています（5年間で4500か所増、20万人増）。

しかし、財政状況を理由に、「すべての子どもを対象とした遊び場提供事業を実施するから、学童保育を廃止して統合する」という自治体もあり、大きな問題となっています。

親が働いている子どもたちには「学童保育」を、そして、すべての子どもたちに「安全・安心な地域の遊び場・居場所」をつくっていくことが、今日の子育て支援、子育て支援に欠かせない課題ではないでしょうか。

地域で、子どもたちが安全かつ安心して生き生きと暮らせるようにするために、社会や行政、それぞれの子どもの施設、大人に何が求められているのかを、みんなで考え合ひましょう。

パネラー等の紹介

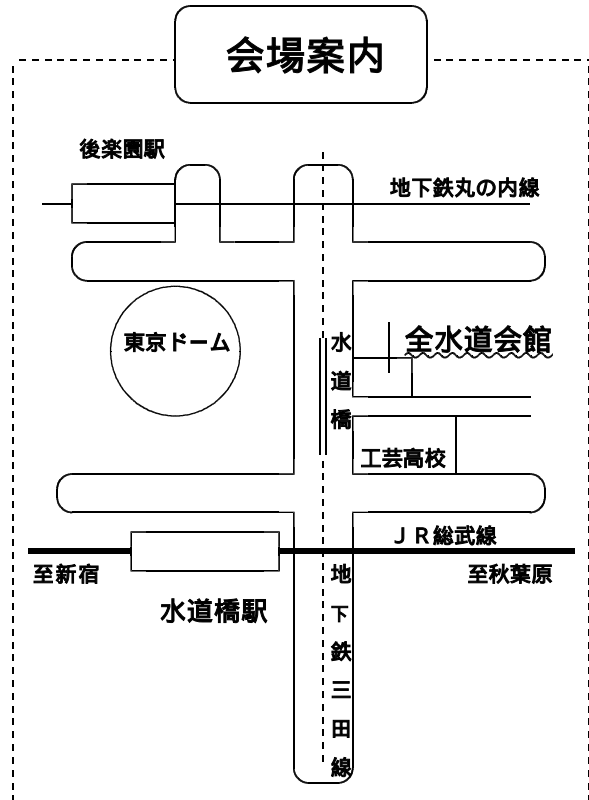
佐藤一子さん 東京大学教授（社会教育）。主な著書に『子どもが育つ地域社会』『NPOの教育力生涯学習と市民的公共性』など。埼玉県さいたま市（旧浦和市で学童保育をつくる運動から共同運営の父母会なども経験）。

清水範子さん 現在、千葉市内の学童保育に、6年生、5年生、1年生のお子さんが入所しています。学童保育をつくる運動も経験。

野中賢治さん 文京区柳町地区児童館館長（兼任同指導員）。元・全国学童保育連絡協議会会長。（財）児童健全育成推進財団の講師等。

福田雅章さん DCI（子どもの権利のための国際NGO）日本支部代表。一橋大学名誉教授・山梨学院大学法科大学院教授（刑事政策）。主な著書は『戦後日本の社会文化構造と人権』など。DCI日本支部として「川崎市わくわくプラザに関する見解」を発表。「子どもの権利条約」に関する国連への『市民・NGO報告書』作成の草の根運動を推進。

会場案内



子育てシンポジウム・申し込み書

ふりがな お名前	お立場・職業
連絡先 〒	電話

必要事項をご記入のうえ、このままファクスにて送信してください。 FAX 03(3813)0765